

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
麻生情報ビジネス 専門学校		昭和60年12月24日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-32 (電話) 092-415-2291		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999		
目的	コンピュータ知識、デザイン、プログラミングを学習し、進化が著しいWeb業界に対応できる力を養う。Web制作におけるプロフェッショナルとして必要な知識と技能を育成する。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工業専門課程		Webクリエイター科		平成23年文部科学 大臣告示第166号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2709	609	2100	0	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
105人		34人		3人	3人		6人
学期制度	■前期: 4月1日～8月31日 ■後期: 9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 「教育目標」に準じた総合評価		
長期休み	■夏 季: 7月27日～8月31日 ■冬 季: 12月25日～1月7日 ■学年末: 3月19日～4月14日			卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書等)提出			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 Web制作会社、デザイン会社 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年4月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	Illustrator能力認定検定 Photoshop能力認定試験 色彩能力検定		
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 6.8% 平成27年5月1日 在学者 44名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 41名 (平成28年3月 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 他分野への進路変更、経済的理由による学業継続困難など						
	■中退防止のための取組 担任面談、三者面談、進路相談、保護者への状況報告、科目別補講など						
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/abcc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性などについて意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質を確保する事を目的とする。意見交換した内容をカリキュラム会議にて精査し、次年度以降の授業実施科目および授業内容の創意工夫等に繋げていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
堀 浩信	福岡市経済観光文化局 国際経済コンテンツ部コンテンツ振興課 課長
伊藤 寛通	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部教育推進グループセクションチーフ
矢野 修作	株式会社ディーゼロ 代表取締役
竹口 伸一郎	麻生情報ビジネス専門学校 校長
荒木 俊弘	麻生情報ビジネス専門学校 校長代行
横尾 保馬	麻生情報ビジネス専門学校 主任
赤城 潤一	麻生情報ビジネス専門学校
甲斐 奈津代	麻生情報ビジネス専門学校

(開催日時)

第5回 平成27年7月3日 19:00～19:10

第6回 平成27年11月6日 19:00～19:10

第7回 平成28年7月1日 15:00～18:00

第8回 平成28年10月20日 15:00～18:00(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

ものづくりに関しての知識・ソフトウェアのオペレーションだけでは、プロとしての制作水準に到達する事が難しい為、より現場に近いスキルアップが期待できる様に、企業の方に現場での状況の話や制作課題を設定して頂く。

科目名	科目概要	連携企業等
CMS (WordPress) I・II	プログラミング言語の習得を行い、様々な機能を組み込んだWebページを構築する手法を学習する。	(株) BanBoo(笹林)
JavaScript演習 I・II	プログラミング言語の習得を行い、様々な機能を組み込んだWebページを構築する手法を学習する。	(株) BanBoo(笹林)

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
中島 みえ子	保護者 情報工学科在校生 保護者
中園 晴久	卒業生 平成6年度情報経理科 卒業生
浦川 美代子	自治会長 博多駅南1丁目1区 自治会長
大山 明	高等学校 久留米市立南筑高等学校 校長
杉野 知大	社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 副委員長
牛島 賢二	社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 副委員長
荒井 秀和	Training Center Japan 事務局長
馬場 伸一	NPO法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム 事務局長
堀 浩信	福岡市経済観光文化局 国際経済コンテンツ部コンテンツ振興課 課長
伊藤 寛通	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部教育推進グループセクションチーフ
長沢 昭彦	一般社団法人 日本経営協会 九州本部長
高岡 宏光	三井情報株式会社 西日本営業部 西日本営業第三室 室長
戸倉 彩	日本マイクロソフト株式会社 テクニカルエバンジェリスト
岡部 浩太郎	S C S K九州株式会社 営業部 部長
竹末 雅輝	株式会社システナ 福岡開発センター センター長

芦原 秀一	株式会社ネットワーク応用技術研究所 取締役
小畑 昌之	安川情報システム株式会社 ソフトウェア研究開発センター 課長
金丸 浩二	グローバルブレインズ株式会社 第1システム本部 部長
白根澤 信孝	ユニアデックス株式会社 システムサービス二部 部長
松尾 昌弘	株式会社システムオーデイト 代表取締役社長
宮崎 太一郎	株式会社サイバーコネクトツー 取締役副社長
今治 智隆	株式会社ヴァイス 代表取締役
須貝 克俊	九州アニメーション株式会社 代表取締役
矢野 修作	株式会社ディーゼロ 代表取締役
田上 喬	株式会社ハッピープロジェクト コンテンツ事業部 部長
大久保 英昭	看公税理士法人 黒岩公認会計士事務所 所長代理
小林 憲一	小林憲一税理士事務所 所長
岩永 茂敏	リコージャパン株式会社 九州事業本部 九州支社 MA事業部 公共担当室 室長
沖田 敏治	株式会社アイスリーラボ 代表取締役
菊本 健司	株式会社アルファクス・フード・システム マーケティング営業戦略部 次長
下部 貴志	株式会社Flourish 総務部 部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_abcc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp> (麻生専門学校グループ)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/abcc> (麻生情報ビジネス専門学校)

授業科目等の概要

(工業専門課程 Webクリエイター科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩・カラーコーディネートⅠ	色彩の基礎知識について学ぶ。色彩、光、配色の働きや心理的効果、知覚的効果について学習する。	1前	60		○			○			○	
○			色彩・カラーコーディネートⅡ	色彩の基礎知識について学ぶ。色彩、光、配色の働きや心理的効果、知覚的効果について学習する。	1後	60		○			○			○	
○			メディア概論	紙メディアからインターネットメディアの進化を中心に広告、宣伝効果を体系的に学ぶ。	1前	30		○			○			○	
○			Web概論	Web業界の基礎的な知識習得と、Webサイト制作でのプロジェクト管理手法を身につける。	1後	30		○			○			○	
○			コピーライティングⅠ	広告制作におけるキャッチコピーの重要性と、効果的な作成手法を学習する。	1前	30		○			○			○	
○			コピーライティングⅡ	広告制作におけるキャッチコピーの重要性と、効果的な作成手法を学習する。	1後	30		○			○			○	
○			CGリテラシーⅠ	CG業界で必要となる知識の習得を学び、活用事例から応用知識を学ぶ。	2前	30		○			○			○	
○			CGリテラシーⅡ	CG業界で必要となる知識の習得を学び、活用事例から応用知識を学ぶ。	2後	30		○			○			○	
○			G C B Ⅰ	グローバルで活躍できる人材を目指し、感謝と志というテーマを中心に学習する。	1前	15		○			○			○	
○			G C B Ⅱ	グローバルで活躍できる人材を目指し、感謝と志というテーマを中心に学習する。	2前	15		○			○			○	
○			英文基礎Ⅰ	英語スキルを習得し、英会話のできる人材を目指す。	1前	30		○			○			○	

○		PC・ネットワーク基礎Ⅰ	ネットワークの基本構造やサーバー運用のための演習を実践から習得する。	1前	30			○	○	○				
○		PC・ネットワーク基礎Ⅱ	ネットワークの基本構造やサーバー運用のための演習を実践から習得する。	1後	30			○	○	○				
○		撮影技法Ⅰ	デジタル一眼レフカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル画像編集の技術習得を図る。	1前	15			○	○	○				
○		撮影技法Ⅱ	デジタル一眼レフカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル画像編集の技術習得を図る。	1後	15			○	○	○				
○		映像編集Ⅰ	ビデオカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル映像編集の技術習得を図る。	1前	15			○	○	○				
○		映像編集Ⅱ	ビデオカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル映像編集の技術習得を図る。	1後	15			○	○	○				
○		メディア演習基礎Ⅰ	アニメーションの技術と、それらを制御するプログラムを学習し、Flash技術を使用したコンテンツ制作を行う。	1前	60			○	○	○				
○		メディア演習基礎Ⅱ	アニメーションの技術と、それらを制御するプログラムを学習し、Flash技術を使用したコンテンツ制作を行う。	1後	60			○	○	○				
○		JavaScript演習Ⅰ	プログラミング言語の習得を行い、様々な機能を組み込んだWebページを構築する手法を学習する。	2前	60			○	○		○	○		
○		JavaScript演習Ⅱ	プログラミング言語の習得を行い、様々な機能を組み込んだWebページを構築する手法を学習する。	2後	60			○	○		○	○		
○		CMS (WordPress)Ⅰ	コンテンツ管理システム (CMS) を使ったWebサイト制作を通して、サーバ構築方法、PHPを使ったプログラミングスキルを身につける。	2前	30			○	○		○	○		
○		CMS (WordPress)Ⅱ	コンテンツ管理システム (CMS) を使ったWebサイト制作を通して、サーバ構築方法、PHPを使ったプログラミングスキルを身につける。	2後	30			○	○		○	○		
○		メディア演習応用Ⅰ	アニメーションの技術と、それらを制御するプログラムを学習し、Flash技術を使用したコンテンツ制作を行う。	2前	60			○	○	○				

○		メディア演習 応用Ⅱ	アニメーションの技術と、それらを制御するプログラムを学習し、Flash技術を使用したコンテンツ制作を行う。	2 後	60			○	○	○				
○		撮影技法Ⅲ	デジタル一眼レフカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル画像編集の技術習得を図る。	2 前	30			○	○	○				
○		撮影技法Ⅳ	デジタル一眼レフカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル画像編集の技術習得を図る。	2 後	30			○	○	○				
○		映像編集Ⅲ	ビデオカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル映像編集の技術習得を図る。	2 前	30			○	○	○				
○		映像編集Ⅳ	ビデオカメラ等撮影機材の取り扱いから、撮影・編集のワークフローを体験し、デジタル映像編集の技術習得を図る。	2 後	30			○	○	○				
○		企画制作Ⅰ	実案件を元にした中規模のWebサイトをチームで制作し、Webサイト制作の応用的なスキルを習得する。	2 前	90			○	○				○	
○		企画制作Ⅱ	実案件を元にした中規模のWebサイトをチームで制作し、Webサイト制作の応用的なスキルを習得する。	2 後	90			○	○				○	
○		企画制作Ⅲ	実案件を元にした中規模のWebサイトをチームで制作し、Webサイト制作の応用的なスキルを習得する。	3 前	60			○	○				○	
○		企画制作Ⅳ	実案件を元にした中規模のWebサイトをチームで制作し、Webサイト制作の応用的なスキルを習得する。	3 後	60			○	○				○	
○		ポートフォリオⅠ	就職に必要なポートフォリオの制作からプレゼンスキルを習得する。	2 前	30			○	○				○	
○		ポートフォリオⅡ	就職に必要なポートフォリオの制作からプレゼンスキルを習得する。	2 後	30			○	○				○	
○		プランニング 演習Ⅰ	インターネットで提供されるサービスに関する基礎知識について学ぶ。WWW、電子メールなどのインターネットサービスやソーシャルコミュニケーションについての知識を修得する。	2 前	30			○	○				○	
○		プランニング 演習Ⅱ	インターネットで提供されるサービスに関する基礎知識について学ぶ。WWW、電子メールなどのインターネットサービスやソーシャルコミュニケーションについての知識を修得する。	2 後	30			○	○				○	
○		デザイン演習 Ⅰ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3 前	60			○	○				○	
○		デザイン演習 Ⅱ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3 前	60			○	○				○	

○		総合制作Ⅰ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3前	90			○	○	○		
○		総合制作Ⅱ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3前	90			○	○	○		
○		卒業制作Ⅰ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3後	90			○	○	○		
○		卒業制作Ⅱ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3後	90			○	○	○		
○		卒業制作Ⅲ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3後	90			○	○	○		
○		卒業制作Ⅳ	各自のテーマに沿った制作を、企画から完成まで通して行い、制作経験を重ねる総合制作として臨む。個人の制作実績を豊かにさせる。	3後	90			○	○	○		
合計				60	科目	2709単位時間(単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 ・卒業基準検定を取得していること。 ・学年の出席率が90%以上であること。 ・学生としてふさわしい生活態度であること。 	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。